

# 構想の背景を知って安心、納得して推進

## GIGAスクールを 乗りこなす ①



### 1人1台端末の導入・取り扱いは万全でしょうか？

—文部科学省の実態調査から

#### 福原徹郎

GIGAスクール構想推進委員会  
学校支援部 調達・導入サブ部長

【監修】一般社団法人ICT CONNECT21

GIGAスクール構想推進委員会 情報発信部会

運営中のGIGAスクール構想の情報集積サイト「GIGA HUB WEB」

URL: <https://giga.ictconnect21.jp/> (「GIGAスクール情報」で検索)

#### 1人1台の端末準備は万全でしょうか？

これまでICT CONNECT21の調達・導入サブ部会では、GIGAスクール構想による1人1台実現のための端末の調達および導入への協力を、各企業・法人、学校・教育団体が丸となって、支援させていただきました。文部科学省「端末利用状況等の実態調査令和3年7月末時点（確定値）」（以下「調査」）でも、公立小学校等の96.2%、中学校等の96.5%が「全学年」または「一部の学年」で端末の活用が開始されているという結果が出ています。しかしながら、これからPCまたはタブレットを小・中学校で当たり前のように使用してきた生徒を受け入れる高等学校での対応準備は万全でしょうか？

残念ながらいまだ高校生の使用端末はスマートフォンでよいとする一部自治体があります。確かにオンライン授業でのWeb会議システムによる出席確認や、講義でのSNSなどを使った課題送信、連絡などではスマホで足りるかもしれません。しかし、データ分析、文献調査、レポート、プログラミング、デザイン、アプリケーションや作品の制作など、小・中学校よりも高度な高校の学びに対しては、スマホでは実現が困難であり、少なくとも

も小・中学校と同水準以上のPCまたはタブレット端末が不可欠です。高校でのICT教育を小・中学校の水準から後退させてはいけません。高校においても地域差のない学習環境の準備をよろしく願います。

#### 端末活用への役立ち情報

「調査」ではほとんどの小・中学校で開始されているという端末の活用ですが、まだトリアルとして使ってみたという段階の学校はありませんか？ これまで端末やICTの利用になじみのなかった学校や先生がICT端末を授業に組み込むには、さまざまなハードルがあると思います。

文科省では、GIGAスクール構想の実現に向けて「GIGA SUDX推進チーム」を設置し、全国の教育委員会や学校が参考となる事例の発信・共有するために「SUDX Style」(<https://www.next.go.jp/studstyle/>) という情報サイトを公開しています。GIGA端末を校務・教務に活用するうえでさまざまな情報が発信されていますので、ぜひ活用ください。

#### GIGA端末持ち帰りへの支援

1人1台タブレット端末の家庭への「持ち

帰り」については文科省からもその積極的な利活用の通知が出ていますが、端末持ち帰りの対応状況においては、いわゆるコロナ禍等で登校できない非常時に対しては33・5%、そして平常時では73・9%の学校がまだ持ち帰りの実施準備が完了していないようです（「調査」より）。

児童・生徒を直に観察・指導できる学校内とは異なり、端末の持ち帰りに関しては、家庭での活用にあたってのルール整備や、安全・安心に使える管理・運用方法の設定などについて疑問が多いかと思えます。そこで、端末の持ち帰りについて皆さまのご参考になる情報を、ICT CONNECT 21が運営する「GIGA HUB WEB」に学校支援部の情報発信部会がまとめておりますので、ぜひ一度ご覧ください（<https://giga.ictconnect21.jp/event/210810/>）。

すむじ「GIGA HUB WEB」内に掲載されているさまざまな持ち帰りに対する有用コンテンツに加え、GIGAスクール構想推進委員会の参加企業さまからの持ち帰りをサポートするコンテンツなどをまとめていますので、皆さまの端末の持ち帰りに対する不安を払しょくする助けになればうれしいです。

## GIGA端末の安全・安心な取り扱い

「調査」では、2021年4月1日以降で破損・紛失した端末の台数は全体の0・2%（19,228台）であったと報告されています。そして、その破損・紛失時の対応は27・3%が事業者との保守契約等による代替機などの手配、72・1%が予備機の活用となっています。

破損に関しては、思わぬ事故を未然に防ぐためにも安全・安心な取り扱い方法を今一度ご確認ください。確かにGIGAスクール対応の学校向け端末は、他の民生向け端末よりも防塵、防水、物理ショックに強い設計がなされています。しかしながら、やはり最新の精密電子機器であることには間違いありません。

また、安全・安心な取り扱いに関しては、物理的な取り扱いだけではなく、そのセキュリティやパスワード、アクセス設定などネットワークに関する運用・取り扱い、さらには盗難対策などに対しても適切な対処が必要です。1人1台端末の活用が家庭への持ち帰りを含めて本格化してきているため、その対策はよりいっそう重要になっています。

さまざまなGIGA端末の安全・安心な取

り扱いについて、児童・生徒向け、学校向けに啓発するまとも「GIGA HUB WEB」内に情報発信部会によって新たに用意されました。調達・導入サブ部会からも参加企業様によるサポートコンテンツを提供していますので、ぜひご利用ください（<https://giga.ictconnect21.jp/トップページに案内アリ>）。

## 調達・導入サブ部会の今後の支援

現代社会において必須となった、PC、タブレット、スマホなどの情報端末は、児童・生徒にとつて家庭でも学校授業でも、すでに当たり前のツールとなりました。しかしながら便利なツールであるとともに、ネットワークを介してさまざまなデータや情報がその端末以外とも共有されるという性質上、あらためてその安全・安心な取り扱い方法を学んでいく必要が、児童・生徒および教育者両方に求められます。けつして悪用されるべきものではなく、ましてやいじめが増長されるものではあってはなりません。

さまざまな未来の可能性を持った児童・生徒のため、調達・導入サブ部会では教育者の皆さまに対し、これからも多くの支援を行えるように活動してまいります。皆さまのご活用に役立てられましたら幸いです。